

リンクスの 事業再生現場

レポート 第57回



(株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館 5F
TEL : 028-634-5088
Mail : info@rincs.biz
URL : http://www.rincs.biz/

【SANSUI】

7月上旬、山水電気(株)の破産が報じられました。若い方には馴染みが無いかもしれませんが、我々世代にとってSANSUIはプリメインアンプの高級メーカーとして憧れだったことを思い出します。雑誌を眺めては、いつか手に入れたらと思っていただいたブランドでした。高度経済成長期のオーディオブームにおいて、チューナーのトリオ、スピーカーのパイオニアと共に、オーディオ御三家とまで称されていました。当時は早見優さんがイメージキャラクターでしたね。

山水電気(株)は、84年10月期年商525億を計上していましたが、その後のオーディオ業界衰退により経営危機が表面化し、英国企業に傘下入りし、間もなくその英国企業が破綻。次に香港企業の傘下に入ったものの、その香港企業も破綻。2012年に民事再生申請し、同年再生手続きを終結しましたが、資金繰りが立ち行かず、破産となったものです。破産時の負債は、3億5千万円であり、SANSUIブランドを知る者としては、僅か3億5千万で破産なのかと驚きました。

破綻の原因を見ますと、

- ① バブル崩壊から始まる世界的な不況により、贅沢品である高級オーディオ市場が縮小したこと
- ② MP3プレーヤーやスマホといったデジタル化により、フルサイズのオーディオ需要が縮小したこと
- ③ プリメインアンプしか主要商品が無かったこと

といったことが報じられており、これらの複合

要因により経営危機に瀕したのでしょうか。

ただ、残念なことは、SANSUIが海外企業に支援を求め続けたことです。そのスポンサー先がいずれも破綻してしまったということは、シナジー効果のないスポンサーであったと思われるかもしれません。日本のブランドが海外企業の手に入り、終焉を迎えてしまったことが、ファンとして残念でなりません。

御三家と言われたトリオは、ビクターとの統合によりJVCケンウッドとなり、もう1社のパイオニアとの間で、カーオーディオ・カーナビ業界にて再びシェア争いを繰り広げています。

SANSUIとの違いは何だったのでしょうか。環境変化にも関わらず、プリメインアンプしか主要商品がなかった状態で、そこから変革することが出来なかったことが最も大きな違いです。その原因は、経営陣、スポンサーに長期的ビジョンが不足していたと言わざるを得ません。環境変化の波は想像を絶するものがあったと思いますが、言い訳にしかありません。

我々中小企業にとっても教訓になる事象でした。身近なところでは、かつての成功体験を忘れられずに固執する先代社長と、環境変化の波に押しつぶされそうになっている二代目社長との間で食い違う経営方針。よくあるケースです。日々の忙しさから後回しになっていると思いますが、長期ビジョンを持ち、そのビジョンを全員が共有化し、向かうべき方向を指し示すことが大切です。我々もサポートしていきます。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。